



あいのわ福祉会

Ayase River Times

みんなで 「ほっと、いっしょに、いきいきと」
 ～安心・信頼を大切に 共に考え・学び、お互いの自己実現を目指します～

一年を振り返って、さらに一步前に!!



施設長 横内康行

一年が過ぎるのはとても早いものです。つい先日綾瀬あかしあ園に着任が決まったと思いきや、もう一年が経ってしまったのですね。

平成11年の4月からあいのわ福祉会にお世話になって、足立あかしあ園に9年、竹の塚あかしあの杜に4年、綾瀬あかしあ園に1年の合計14年になりました。たくさんの利用者の皆さんや保護者の皆さんに出会えて、私はとても幸せな日々を送ることが出来、幸せ者と思っています。ここ数年、特に感じますが14年前と大きく異なっていることは、利用者の方の高齢化とその家族の高齢化が進んでいます。年々医療的なケアやソフト食者の増加がこのところ、めっきり増えて来ています。

綾瀬あかしあ園でも、何人かのご家族において厳しい家庭環境に置かれ始めていることは間違いありません。障がいの重い利用者さんの家庭での介助に加え、家族の介護や病いのある人のお世話は主婦一人ではどうしても耐えられることではありません。早めの手立てや元気なうちから、ヘルパーや制度を有効活用してのライフスタイルを自ら変えていくしか逃れる方法は無いと考えます。

平成25年度は、施設も一步前に踏み出します。ご家族の皆様も、是非一步を踏み出してみても如何でしょう。新たな発見が出来るかもしれません。

園に不審者が・・・

3月18日(月)、綾瀬警察署生活安全課防災係の方をお招きし、不審者侵入時の対応方法についての講義をしていただきました。不審者と思われる人が入ってきたとき、いかに素早く110番通報ができるかがポイントだということや椅子やさすまたを使った不審者との間合いの取り方を教えていただき、とても勉強になりました。そしてすぐにできる不審者侵入時対策は、講義の後、早速取り掛かっています。今度は不審者が入ってきたことを想定して行うシミュレーション訓練を綾瀬警察署生活安全課防災係の方に協力していただき行う予定です。



☆今年度を振り返って☆

自己表現を大切に・・・

1グループ

晴れた日には外に散歩に行き、外気に触れる機会を多くつくってきました。日中活動では、調理で色々な素材に触れたり、音楽療法で笑顔がみられたり、牛乳パックの椅子づくりでたくさん仕事をしたり、外出で電車に乗ったり、眠くて眠ったり、1年間色々な経験をしてきました。

年度当初はフロア内が静かに感じることもありましたが、のんびりとしていてそれが心地良く感じることも多く、うれしい時は笑い、悲しい時には泣き、怒っている時には怒り、眠い時には眠る。そんな1グループのみなさんの自己表現を大切にしながら来年度も過ごしていきたいと思います。



体を使った取り組みを

3グループ

今年度はグループ編成が変わり4月当初は、緊張されたり不安な表情をされていた方々がいましたが1年が経ち、今では仲間意識が芽生え、楽しく毎日を過ごしています。3グループでは「音楽と体を使った取り組み」を軸に、毎朝のラジオ体操から始まり音楽活動やおしぼり作業にも参加し、個別活動や選択活動などもしています。

今年度なかなか行けなかった散歩等、次年度はもっと外にでる機会も増やしていけたらと考えています。来年度もこのままの勢いで元気いっぱい頑張ります。



チャレンジの年！

2グループ

24年度の2グループはチャレンジの年！

- * おなじみのおしぼり作業の他にデザイン作業でTシャツやポストイット作りに挑戦。
- * これまで経験していなかったTシャツたたみやアイロンがけ、洗濯機を使うこと。
- * 新たな受注作業(業者から依頼された作業)。
- * パソコンを使ってインターネット検索。
- * 手話や指文字の勉強。

等等

最初は不安そうな表情をしていますが支援員と一緒に上手に行うことが出来た時の最高の笑顔を沢山見ることが出来ました。家でやるようになったという方も！！一方では、やっぱりこれまでやっていたおなじみの「おしぼり作業をもっとやりたい！！」という意見も挙がっています。

今年度はとにかくチャレンジということで1回のみで終わってしまったものもありましたが、今度は経験してきたことをそれぞれの生活につなげていけるように繰り返すなど慣れるまで行なっていけるようにしていきたいと思えます。



創作活動を通して・・・

4グループ

今年度4グループでは、創作活動を通して様々な物を作成しました。全体創作では、玄関や4階フロアの入り口の装飾を作成し、個別創作ではビーズストラップやコースターなどを作成しています。

作業中の様子では、得意なことや好きなことを活かして作業を楽しむ人や、新しいことや苦手なことに挑戦する人などさまざまな取り組み方し、個々に達成感ややりがいを感じながら作業を行っていました。来年度も引き続き、創作活動を通してさまざまな物を創っていかれたらと思えます。



人事往来



野口看護師（竹の塚あかしあ園へ異動）

綾瀬あかしあ園では、病院勤務にはない多くのことを経験させて頂きました。沢山の思い出も出来ました。皆さまには、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

宇野看護師（退職）

病院以外の施設で働いたことのない私にとって、綾瀬あかしあ園で働くことは戸惑いの連続でした。こんな私をいつも素敵な笑顔で迎えてくれる利用者さんには何度も癒されていました。そんな皆さんに会えなくなるのは淋しい限りですが、これからも辛いことがあった時は皆さんの笑顔を思い出して頑張りたいと思います。皆さんが毎日笑顔で楽しく過ごせますようにお祈りしております。

坂内支援員 3グループ（竹の塚あかしあ園へ移籍）

初めは右も左もわからなく、ご迷惑をかけてばかりでしたが、皆さんのおかげで8年間も綾瀬あかしあ園で務めさせてもらうことが出来ました。ありがたく思います。

小澤支援員 3グループ（竹の塚あかしあ園 常勤新規採用）

11月から3月までの短い期間でしたが、充実した日々を送ることが出来ました。時間があるときには、また綾瀬あかしあ園に顔を出します。短い間でしたが、お世話になりました。ありがとうございました。

お悔み

3月3日、1グループの鈴島ちはやさんが他界されました。葬儀には沢山の皆さまが訪れ、鈴島さんと最後のお別れをしました。綾瀬あかしあ園職員一同、謹んでご冥福をお祈り申し上げます

<編集後記>

早いもので、新グループになって一年が経ちます。どのグループも今年度で形となってきた物を、より良くしようと考えています。来年度も綾瀬あかしあ園の活動にご理解とご協力をよろしくお願い致します。

（星野 記）